

検討会（第3回）における議事概要及び各委員からの主な意見について

日 時：令和3年12月23日 9:30～11:00

出席委員：高見沢委員、中村委員、平本委員、福田委員、稲垣委員

1 議事概要

(1) 検討会（第2回）ふりかえり

(2) 議事

- ・(論点3) 都市計画区域マスタープランのあり方について
- ・「第8回線引き見直しに向けた検討会 提言骨子」について

2 各委員からの主な意見

(1) 論点3（都市計画区域マスタープラン）に関する主な意見

No	主な意見
1	・流域治水やグリーンインフラなどは、従来に増して行政区を超えた議論の必要性が高まっている。できれば政令市とは意見交換にとどまらず、水平調整を行う枠組みの構築を検討していただきたい。
2	・県の津波・高潮の浸水想定区域図の作成の過程でも、関係者の意見交換・調整が既に行われている。都市計画でも図を作ることを介して、将来像を議論できる場があると良い。
3	・境川は二つの都市圏に分けて考えるのが難しいと思う。テーマごとに示す範囲の取り方を変える可能性もあるのではないかな。
4	・グリーンインフラ等をもっと周りも見なくてはいけない。県全体の図面で示すことが必要ではないかな。
5	・災害に関しては、見るべき図がたくさんあり、そのまま載せるのは更新頻度の面から難しいが、どの図を見るべきかが分かる索引やリストが記載できると良い。
6	・広域の交通網が図に示されると良い。交通ネットワーク、防災等、施策によってもつながる方向が違うので、整理して示せると良い。
7	・脱炭素社会に対応した広域的課題とは何か、より具体的に示せると良い。また、どういう項目が脱炭素につながっているのか、意識的に書くべき。
8	・広域的な課題とあるが広域的な課題と共通的な課題に分けられることから、表現を整理して示していけると良い。
9	・方針図を付けるのはいいが、ただの絵図にならないよう都市計画区域マスタープランや市町の計画ともきちんと連携して作るべき。

(2) 第8回線引き見直しに向けた検討会 提言骨子に関する主な意見

No	主な意見
1	・論点3で議論した復興まちづくりや脱炭素等もしっかりと記載すべき。
2	・これまで議論した3つの論点は互いに関係するので、相互に調整して示していくべき。
3	・政令市との連携・調整については、広域防災やグリーンインフラなどで少し県が出張るような書きぶりにならないか。 「広域の図面等を通して」調整を図ると記載してはどうか。
4	・第2章の四角い枠の中には、災害リスクや立地適正化計画、拠点づくり、人口減少、今後のライフスタイルやグリーンインフラ、の4つの項目に分けて、それぞれの解説を記載する構成にすべき。
5	・四角い枠の中の意味と解説が書いていないので、記載している内容が何であるかが分かるように示すべき。
6	・ハード整備の計画ありきで都市計画が決まっていくよりも、都市計画の方針があってハード整備をしていく調整がされてもいいのではないか。
7	・グリーンインフラには、積極的に再生して活用していく取組と、既存の緑の保全をして活用する取組があり、これらを重層的に進めていくことが必要である。再生は空き地の活用、保全は既存の活用などを考えていくべき。
8	・多面的な自然環境の取組は、市町の役割・県の役割を明確にして、県としてやるべきことを具体的に示すことが望ましい。
9	・神奈川県は、東の三浦半島から西の箱根まで緑があり、バランスよく配置されている。こういった特徴もしっかり記載すべき。